また夢と思っていた「山手の家と山下町のアトリエ」が現実のものとなったのです。強く願って、努力を怠らなければ実現する。よく言われることですが、ほんとうなのだと思い知りました。

しかし栄光の陰には、同じくらいの苦しみがありました。同業者の嫉妬や意地悪もさることながら、私を最も苦しめたのは家庭を犠牲にしているという自責の思いでした。既に年間2000組のブライダルプロデュースを手がけるようになっていた私は、多忙を極め、家族にはずいぶん寂しい思いをさせたと思います。

それでもなんとか仕事と家庭を両立させられたのは、女性がいちばん輝くときに、その「幸せのお手伝い」をしたいという強い思いがあったからです。私は今も、女優さんなど有名人だけでなく、一般のかたのウエディングプロデュースもスケジュールの許す限りお引き受けし、お式の日の付き添いもします。それはひとえに、幸せのお手伝いをすることが自分の使命だと考えているからです。

皇后陛下のために生けられたお迎え花
©2009東レPPOテニス

心ゆくまで楽しめる時間を持とう

女性は家庭に入ると、よき妻・よき母であろうとするあまり、自分のことを後回しにしがちです。そうとは気づかないうちに自分を犠牲にしていることも多いのではないでしょうか。

実は私もかつてはそうでした。子どものころから「いい子でいなければ」という思いがあり、それは結婚してからも続きました。自分らしく生きるということよりも、人の目を気にして人からの評価による価値観の中で生きていくのに必死だったのかも知れません。

悶々としてストレスがたまるなかで、大好きなお花に触れているときだけは、素の自分自身と向き合うことができ、自分自身を縛り付けて苦しめている「世間体」というものから解放される気がしました。

多くのどん底を体験し、試練や挫折を経てからというもの、今では世間体はなんの意味もなさないことを知り、自分を覆う殻はいっさいなくなり、素の自分で、自分の価値観で生きることができるようになり、とても楽になりました。

杉山愛選手の引退試合を飾るKAORUKO作「白合の抱えるブーケ」©2009東レPPOテニス

まずは「自分だけの心ゆくまで楽しめる時間」を持つようにしましょう。洋服やインテリアのコーディネイトを考えるのが好き、スポーツをして汗を流すのが好き、楽器の演奏をしているとなにもかも忘れられるなど、夢中になれることはありませんか？　夢中とまではいかなくても、ちょっと興味があること、やってみたいことでもいいのです。

そんな「好き」の時間を毎日の中で少しずつ持つようにしましょう。それはあなた自身の心を潤し、幸福感を感じさせ、あなたに輝きを与えてくれます。女性が元気で幸せを感じることが、他者や家族が自分らしい生き方を見つけるきっかけにもなるでしょう。

自分を愛せれば周りの人も愛せて、ひいてはそれが、日本の、そして世界の平和と幸せにつながるのです。ぜひ自分だけの「小さな幸せ時間」を持ってみてください。

日々の暮らしにお花を取り入れましょう

毎日同じように続く日常生活の中でワクワクすることを見つけるのが、ハッピーに生きる秘訣だと私は考えています。その一つとしてお勧めしたいのが、お部屋にお花を飾ること。お花はそこに存在するだけで、人を忍きつけるパワーを持っています。お花を見て暗い気持ちになる人はいません。お花は私たちの心を癒し、明るい気持ちにさせてくれます。

暮らしを楽しむことが上手な欧米の女性の多くは、お気に入りのお花屋さんを持っています。お客様を招く特別な日でなくても、自分自身がお部屋でくつろぐために、その日の気分に合ったお花を求め、楽しみながらアレンジしています。

お花は、選ぶとき、飾るとき、眺めたとき、何度もときめきを感じさせてくれます。いくつになってもときめきを忘れず、みずみずしい若さを保つためにも、ぜひお花に触れてみてください。

青山1丁目の大邸宅エリュシオンハウスでのKAORUKOさんプロデュースのオリジナルウエディング

心に潤いと癒しをくれるお花をセンスよく楽しむ秘訣と開運アレンジメントを公開

ブライダルフラワープロデューサー　KAORUKO

身近な物を花器にして

お花を飾って楽しむために、知っておいてほしいことをいくつかご紹介します。

まず、お花の選び方について。2種類以上のお花を選ぶのなら、「黄色とオレンジ」や「ピンクと紫」など、同系色のグループにすると、センスよくまとまりやすくなります。このとき、どんな器にアレンジするかということも想定しておくといいですね。

手持ちの花器がなくても問題ありません。マグカップやペットボトルなども、工夫しだいで素敵な花器になります。左の写真を見てください。マグカップに挿したお花は、ミニバラとスプレーマム(菊)で、「ゆほびか」編集部が地元のスーパーで「600円程度」買ってきたものです。

マグカップの中に長さ30cmほどの手芸用ワイヤー4～5本をくしゃくしゃに丸めて入れ、花止めにしています。ここに10～15cmくらいの長さに切り分けたお花を、放射状にバランスを見ながら挿していきます。

もう一つは、右下の写真。500mlのペットボトルを半分の高さで切ったものに、ハランという葉を巻いて両面テープで止めたものを花器にして、シックな色のダリアを挿してみました。たった一輪でもこうして楽しむことができるのです。

茎をカットするときは、切り口が大きくなるよう斜めにカットします。茎の細胞がつぶれないよう、鋭利な刃物でスパッとカットしてください。水の中で茎を切る「水切り」がよくいわれますが、それほどこだわらなくてもいいと思います。

切り花を長持ちさせるには、こまめにお水を替えること。お花を買ったときに付けてくれるような延命剤を入れるのもいいですね。

お花は、私たちの心に潤いと安らぎをもたらしてくれるだけでなく、パワーも与えてくれます。日々の生活の中ではいろいろなことが起こりますが、お花を見て慰められ、元気づけられることも多いものです。

さて、次ページでは、KAORUKO特製レシピによる「開運フラワーアレンジメント」を提案しています。ぜひ参考にしてください。

見るだけで幸せになれるゴージャス版も用意しましたので、楽しんでくださいね。

スーパーで買ってきたままの状態。茎も長いままで、大胆なカットが必要

KAORUKO先生にかかるとこんなステキなアレンジメントに！　茎を短くして、葉っぱもかなり落とし、厳選して挿していく。マグカップの中には、手芸用ワイヤー4～5本を丸めたものを入れ花止めにしている

ペットボトルに、ゴールドスプレーで色をつけたハランの葉をひと巻きして花器を作り、シックな色の大ぶりのダリアを一輪挿すだけで、こんなにオシャレな雰囲気が完成